

山田 博子

静岡県浜松市出身。2016年に全日本野球協会初の女性理事に就任。翌2017年に世界野球ソフトボール連盟の理事選で野球部門初の女性理事として当選。2020年に全日本女子野球連盟会長に就任し、国内外の女子野球普及に全力で取り組んでいる。写真:榎本ゆき 協力:野球殿堂博物館

国保祥子

静岡県立大学経営情報学部准教授
慶應義塾大学総合政策学部講師(非常勤)
株式会社ワークシフト研究所所長

外資系企業でのコンサルティング経験を経て、慶應ビジネススクール在籍中から企業や行政機関のリーダー育成や管理人材育成に携わり、研究に基づいた人材育成プログラムデザインの経験を多く持つ。KOKULABOフューチャーセンターで、グッドデザイン賞を受賞。

益子 直美

タレント・スポーツキャスター
元バレーボール全日本代表選手

中学からバレーボールを始め、高校3年で全日本代表入り。世界選手権やワールドカップへ出場。現役引退後は、イトヨーカドーアシスタントコーチを務めた後、タレント、スポーツキャスターへ転身し、現在に至る。財団法人バレーボール協会理事。

星 奈津美

東洋大学非常勤講師・日本水泳連盟アスリート委員
競泳オリンピックメダリスト

オリンピックに3大会連続出場し、2大会で銅メダル獲得。持病と闘い、克服しながら偉業を成し遂げたバタフライのスペシャリスト。現在は、講演や水泳教室などで自身の経験を伝える傍ら、メディアを通じてバセドウ病の理解を促進する活動を行うなど活躍の場を拡げている。

辻 愛沙子

株式会社arca代表取締役
クリエイティブディレクター

社会派クリエイティブを掲げ、「思想と社会性のある事業作り」と「世界観に拘る作品作り」を軸として広告から商品プロデュースまで領域を問わず手がける越境クリエイター。イベント、商品企画、ブランドプロデュースまで、幅広いジャンルで活躍。日本テレビnewszero水曜レギュラー。

村上 大祐

嬉野市長

平成30年2月に35歳で全国最年少市長(当時)として佐賀県嬉野市長に初当選。その若いエネルギーと感性で数々の新しい施策を打ち出し、まちの活性化を積極的に進めている。写真:嬉野市

アスリートが語る 女性目線のまちづくり

対話で創る嬉野の未来

「女子野球タウン」の嬉野市は、女子野球との取り組みの中で、スタジアム内には女子トイレがないなど、女性目線がまちづくりに十分に届いていないことに気づき、「女性目線をまちづくりにどのように取り入れるか?」という課題に取り組んできました。このシンポジウムでは、アスリートの益子直美さん、星奈津美さん、クリエイティブディレクターの辻愛沙子さん、そして女性活躍推進やまちづくり等に多様な目線を取り入れる手法である「フューチャーセンター」の専門家国保祥子さんにお越しいただき、全日本女子野球連盟代表理事の山田博子さんと村上大祐市長とともに、女性目線を取り入れるまちづくりについてクロストークを展開します。ぜひ当日はお楽しみにお越しください!

Happy Together Project



[主催] 嬉野市

[お問い合わせ]

嬉野市役所総合戦略推進部
広報・広聴課 0954-66-9115

2023年2月12日[日]

15:00-17:00(開場:14:30)定員:50名

会場:嬉野市中央体育館U-spotトレーニング室

- ・新型コロナウイルスの対策等により人数の変動が見込まれます。
- ・応募者多数の場合は、抽選となる可能性もありますので、ご了承ください。
- ・当日はオンライン配信もごさいます。嬉野市HPからアクセスしてください。

○本シンポジウムは、新型コロナウイルスへの対策の上実施されます。○今回収集する情報は、シンポジウム開催における新型コロナウイルス対策等のために使用されます。○なお、新型コロナウイルス等に関する情報や個人情報の取り扱いに関する情報は、嬉野市HPより御確認ください。



会場参加の
申し込みはこちら